

別記第1号様式（第7関係）

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		令和5年度 第1回豊島区教育ビジョン検討委員会
事務局（担当課）		教育部庶務課
開催日時		令和5年5月24日（水）午後6時00分～午後7時30分
開催場所		豊島区役所 レクチャールーム（本庁舎8階）
議 題		1 諮問 豊島区教育振興基本計画（豊島区教育ビジョン 2024）の策定に係る諮問について 2 次期豊島区教育ビジョン策定に向けたスケジュールについて 3 教育ビジョン2019の振り返りと豊島区の現状について 4 国及び東京都の動向について
配 布 資 料		資料1 豊島区教育振興基本計画（豊島区教育ビジョン 2024）の策定に係る諮問について 資料2 次期豊島区教育ビジョン策定に向けたスケジュール 資料3 豊島区教育ビジョン2019の取り組み状況と成果・課題 資料4 豊島区の現状 資料5 文部科学省「次期教育振興基本計画について（概要）」 資料6 東京都「こども未来アクション（一部抜粋）」 参考資料1 豊島区附属機関設置に関する条例 参考資料2 豊島区教育ビジョン検討委員会運営要綱 参考資料3 豊島区審議会等の会議の公開に関する要綱 参考資料4 豊島区教育ビジョン検討委員会委員名簿 参考資料5 豊島区教育ビジョン2019 豊島区教育振興基本計画 参考資料6 豊島区の教育2022
公開の可否	会 議	☒公開 ☐非公開 ☐一部非公開 傍聴人数 0 人
	会議録	☒公開 ☐非公開 ☐一部非公開
出席者	委員	増渕達夫 藤平敦 福本みちよ 菅谷哲史 小出淳平 松浦和代 山元俊一 守口幸恵 百崎薫 齋藤玲子 下村賢一 瀬能理映 蔦宮子 佐藤洋士 岡泉美和子 山野邊暢 田中真理子 副島由理 澤田健（敬称略）
	その他	教育長、教育部長、庶務課長、教育施策推進担当課長、学務課長、放課後対策課長、学校施設課長、指導課長、教育センター所長
	事務局	庶務課

審 議 経 過

発 言 者	発 言 要 旨
庶務課長	皆さん、こんばんは。 本日は、ご多用のところ、お越しいただきまして、ありがとうございます。 委員の皆様おそろいですので、これより、第1回豊島区教育ビジョン検討委員会を開会させていただきたいと思います。 事務局を務めさせていただきます、庶務課長の高橋です。委員長選任までの間、議事進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 本日は第1回目の開催となりますので、委嘱状の交付をさせていただきたいと思います。 本来であれば、教育長より委員の皆様、お一人お一人に委嘱状を交付させていただくということでございますが、お時間の都合もありますので、本日は机上に委嘱状をお配りしております。お受け取りいただきますようお願いいたします。 また、机中には、検討委員会の委員名簿を配付させていただいております。学識経験者、区内関係団体代表者、公募委員、関係行政機関職員、計19名の委員構成となっております。本日は、19名定員の委員の皆様がご出席ですので、会議の定足数は満たされております。 後ほど委員の皆様、お一人お一人から教育ビジョンの策定に向けたご意見を含めまして、一言ずつ自己紹介をしていただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。 また、この教育ビジョン策定にあたっては、関係する区の部課長が出席させていただきます。本日は、教育部の部課長が後ろに来てございますけれども、このほか、ほかの部署の部課長につきましても、オンライン等で本日の委員会の様子を傍聴させていただいております。ご承知おきいただければと思います。 まず、委員長を選出させていただきたいと思います。委員長につきましては、本委員会の設置要綱、第5条第1項に基づきまして、委員の互選となっております。委員の皆様、いかがいたしましょうか。
委 員	都の教育行政のご経験も長く、多くの知見をお持ちの増渕委員が適任であると思います。
庶務課長	ありがとうございます。ただいま、増渕委員が委員長に推薦されましたけれども、ほかにご発言がなければ、拍手をもってご賛同いただければと思います。 (一同賛同)
庶務課長	ありがとうございます。それでは、増渕委員に委員長をお願いしたいと思います。増渕委員、どうぞ前の委員長席のほうにお移りいただきたいと思います。 増渕委員長、一言ご挨拶お願いいたします。
委員長	ただいまご推薦いただきまして、どこまで務まるか分かりませんし、大

	変責任の重い仕事だと思いますが、委員の皆様のご協力いただきながら進めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
庶務課長	ありがとうございました。 それでは、早速で恐れ入りますが、増渕委員長、副委員長の指名と、以降の運営をお願いいたします。
委員長	それでは、副委員長の選任に移りたいと思います。副委員長は設置要綱の規定によりまして、委員長が指名することとなっております。私からは、藤平委員をお願いしたいと思いますが、よろしゅうございましょうか。 (一同賛同)
委員長	ありがとうございます。それでは、副委員長席にご移動いただいて、一言ご挨拶をお願いします。
副委員長	改めまして、ご指名受けました日本大学の藤平でございます。 諸先輩の方々、たくさんいる中で大変恐縮でございます。私の役目は本委員会が円滑に進みますように、増渕委員長を補佐することだと思います。どうぞご協力よろしくお願い申し上げます。
委員長	続きまして、本検討委員会に対します豊島区教育委員会からの諮問をお受けしたいと思います。事務局に進行をお願いします。
庶務課長	それでは、教育委員会より当検討委員会に対して、豊島区教育振興基本計画、豊島区教育ビジョン2024の策定に関する諮問をさせていただきます。教育委員会を代表いたしまして、金子教育長より増渕委員長へ諮問書を手交いただきます。 (諮問書手交)
庶務課長	それでは、ここで金子教育長より一言ご挨拶させていただきます。
金子教育長	改めまして、皆さん、おいでいただきましてありがとうございます。 本来は、委員の皆様それぞれに委嘱をさせていただくところですが、先ほど事務局からの説明にありましたように省略をさせていただいております。 先生方はもとより、それぞれの団体の長の方々、それから公募の区民の方々、お忙しい中、時間を取っていただきましてありがとうございます。豊島区の子供たちのためによりよい計画を立てていただければと思っております。 この後の5年間ぐらいをめどに豊島区の教育がどうなっていくか。どうしたらいいかを定める大切な計画であると考えております。お時間の限り、それぞれのお立場で思うところを述べていただいて、よりよい計画ができることを望んでおります。 今回、今までとちょっと違うのは、後で説明をしてもらいますけれども、長い諮問文をつくらせていただきました。ただ「お願いします」ということではなくて、今日は私が教育委員会の代表で出ておりますけれども、ほかにも4名教育委員さんがいらっしゃいます。教育委員会の中で時間をかけて、どういうプランをお願いするのかについて、どういう

	ところにお知恵を拝借したいのかについて、明確にして検討をお願いしようということになりました。それで、今回、この後説明していただくようなちょっと長めの諮問文になっておりますので、その点をお酌み取りいただければというふうに思います。 いずれにしても長丁場になりますが、増渕委員長をはじめ、委員の皆様方にはお体に留意されながら、ぜひ最後まで討議をしていただいて、よりよい計画をつくっていただきますよう、お願い申し上げます。私からの挨拶は以上でございます。
庶務課長	それでは、諮問文につきまして、事務局のほうで朗読をさせていただきます。お手元の資料1 諮問文の写しをお取り出しください。 また、あわせまして、現在の豊島区教育ビジョン2019も併せてご参照いただければと思います。 (諮問書朗読) 諮問の内容については、以上となります。 それでは、ここで進行を委員長にお返ししたいと思います。
委員長	ありがとうございました。 今、諮問書を受け取りました。今後はこの諮問内容に基づいて、検討を進めることになります。具体的な審議に入る前に、事務局から検討委員会の運営について、諮りたい点があるということで、その説明をお願いいたします。
庶務課長	それでは、事務局から委員会の運営について、2点説明させていただきます。第1点目ですけれども、会議の公開についてということでございます。当委員会は、豊島区附属機関の設置に関する条例で教育委員会の附属機関として、位置づけられており、原則公開の会議となっております。会議につきましては、公開とすることを考えています。具体的には、傍聴希望者があった場合には、議事の前に、皆様にお諮りいたしまして、入場の許可を諮っていただきたいというふうに考えてございます。第2点目ですけれども、会議録の公開、公表についてでございます。会議録につきましては、委員の皆様にご確認していただいた後に、ご発言された方の個人名を伏せた形で要約形式として、まとめたものを区のホームページなどを通して、公表していきたいと考えてございます。こちらの運用について、お諮りをしたいと思います。
委員長	説明が終わりました。会議を公開し、要約した議事録を公表するというところでよろしいでしょうか。異議がなければ、そのように進めてまいりたいと思いますが、いかがでしょうか。 (異議なし)
委員長	ありがとうございます。それでは、このように進めていただければと思います。 本日の傍聴者はいかがでしょうか。いらっしゃいますでしょうか。
庶務課長	本日はいらっしゃいません。
委員長	はい、分かりました。それでは、今日傍聴者はいらっしゃらないという

庶務課長	ことですので、議事に入りたいと思います。 それでは、事務局から本日の配付資料について、説明をお願いします。 (配布資料の確認) それでは、まず一通り、資料の説明をさせていただきます。 議題2について、資料2をもとに説明 議題3について、資料3・4をもとに説明 議題4について、資料5・6をもとに説明 こういった資料を活用しまして、本日は時間的に審議の時間は難しいかなとは思ってございますけれども、次回以降で具体的なお審議をいただければと思っております。資料のご説明は以上になります。
委員長	ありがとうございます。 それでは、今事務局からの説明がありましたが、開始して少し時間もたちましたので、一旦ここで休憩を取らせていただきます。 休憩の後ですが、本日は最初の検討委員会になりますので、委員の皆様から自己紹介をいただきながら、事務局からご説明いただいた資料も含めて、今回の教育ビジョン改訂に向けたご意見などをお聞かせいただければと思います。 (休憩)
委員長	それでは、委員会を再開いたします。 本日は初回ということで、委員の皆様から自己紹介をいただきながら、様々なお立場でご参加されておりますので、豊島区の教育への思いや期待、ビジョン改訂に当たっての関心事項など、ご意見をお話しただければと思います。 本来、たっぷりいただきたいところですが、委員の皆様、私ども含めて、全部で19人おり、時間の関係もありますので、申し訳ありませんが、お一人当たり、二、三分程度で納めていただければと思います。 なお、先ほどの事務局からの説明に関してのご質問についてですが、後ほどメールで事務局から質問を聞く用の用紙をお送りいただけるとのことですので、そちらにご記入いただく形でお願いできればと思います。 それでは、座席順でよろしくをお願いします。 (各委員から自己紹介) ありがとうございます。 それでは、藤平副委員長をお願いします。
副委員長	改めまして、こんばんは。日本大学の藤平でございます。 私はもともと高等学校の教員をしており、その後、縁がありまして、文部科学省の直轄の機関である国立教育政策研究所で、生徒指導、進路指導担当として、調査研究をしてまいりました。平成19年より今の日本大学の文理学部で主に教員養成の仕事をしております。 今、よく現場の先生がどういう視点で見るとのことと、どのように学校で具現化するかとということお話がありましたが、私もすごく大切

委員長	だと思います。そういう意味で、日本全国、各自治体の教育振興基本計画といったいろいろな政策が出ると、基本方針1、2、3、4、5とか、それを踏まえた自分の施策がいくつか、単発でこういうふうに出ているパターンというのがすごく多いと思います。それはそれですごく分かりやすく、すばらしいことが書いてありますが、それがいかにつながっているのかということを見せられないかなと考えております。 例えば、先ほどの教育ビジョン2019の27ページの再掲文、基本方針1から7が出ておりますが、基本方針2は確かな学力の育成、確かな育成を充実させると基本方針3の豊かな心の育成に結びつき、結果として、不登校が起こりにくくなる。そういうような状況というのは多々あると思います。 実際に学校へ行くと、授業をやる者と生徒指導をやる者、不登校対応をする者というのが全部ばらばらに役割は分かれております。しかしそれだけではなく、教員であれば、全てを統括していると思います。そのときに、自分の主な仕事は授業であるとか、自分は生徒指導主事だから不登校をやるのが仕事だというふうに分かれるのではなく、授業をしつかりやることによって、結果的に不登校が起こりにくくなるというところにつながっているということを見せられると、先生方のモチベーションも変わってくるのかなと思います。全国の教育振興基本計画において、そういう見せ方をしている自治体を、今まで私は見たことありません。ぜひ、豊島区からそういうように発信できると、また変わってくるのではないかと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。 それでは、私も紹介させていただきます。 帝京大学の増渕と申します。私が所属しておりますのは、教育学部の教育文化学科というところで、特に中学校、高校の教員を希望する学生を相手にしています。 帝京大学にお世話になったのは、ちょうど今から5年前です。その前は、もともとは私も都立高校の教員をしていました。都立高校で社会科、現代社会や倫理や政治経済などの指導を17年間にわたって行い、その後東京都教育委員会の指導主事という職に就いて、以来20年間、都の教育委員会にいました。 高校の教員だったのですが、最初に着任したのが、教育庁の三宅出張所で、ちょうど三宅島の噴火のときだったので、噴火対応なども経験をしました。それから、都庁のほうに戻ってきて、いじめの問題、不登校、安全教育、教員採用選考、校長の学校経営の支援など、いろいろなことをやってきましたので、様々なことに関わりながら学んできたなと思っています。その経験を今、大学で生かしているというところです。 3年ほど前、豊島区の学校評価に少し関わらせていただきました。また、昨年度から豊島区の学校の学校評価の第三者評価でお世話になっております。昨年度はこの委員でいらっしゃっている佐藤先生の池袋本町小学校、今年度は池袋中学校、池袋小学校、池袋第三小学校を担当しています。ですので、豊島区の小・中学校についても現状を知っているとまでは言えませんが、訪問したことはありますので、何らかのお役に立てればなと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。 大変ご協力いただいて、想定よりもかなり早く終わってしまいましたけどどうでしょうか。今日やるべきことはここまでというふうに伺いましたが、もう少し時間もあるのでやりましょうか。 委員の皆様で、もう少しご発言したいという方がいらっしゃれば、ご意見をいただければと思います。
------------	--

庶務課長	ほぼ自己紹介で終わったかなと思ひまして、豊島区の教育への様々な思いや期待、言い足りなかったことがございましたら、挙手をいただいて、伺うことができればと思います。いかがでしょうか。
委員	すみません。着座で失礼いたします。 教育ビジョン2019に関わらせていただいたときには、まだコロナもなく、平和な世の中で、親御さんとの関係もうまくいっていました。ですが、やはりコロナを迎えてから、親子関係の溝というのが深まったところもあります。家庭の中にずっといて、自分の子供がどんな子供なのかを目の当たりにしたと。実は、この子って、こんなにできなかったとか、親は否定するような言葉を言っています。でも、本当はいいところもあるのに、その否定観念が子供を駄目にしているのだなとちょっと思いました。 教育ビジョン2019をつくらせていただいたときに、やはり学校と、うまくいくには子供よりも親御さんとの関わりを深くしないといけないと思ひました。先生方は急に親御さんに言うのではなく、私たち民生委員のような地域の専門員にこの家庭はどんな家庭だろうとか、そういう連携がうまくできることによって、学校のほうも知らなかったことを知ることができます。また、子育てサロンといて、毎月、ゼロ歳児から3歳児、またマタニティの親御さんたちにいろいろな劇を見せたり、救急搬送されたときの対応といった勉強会をしております。そのゼロ歳児から三歳児のお子さんが小学校に上がったときに、再会できて、松浦さん、久しぶりねとか、そういった関係づくりをすることで、家庭に私たちが一歩踏み込めるところが私たちの強みかなと思ひていますので、今回、ITもいいですけども、やはりここの教育をしていかないと、子供は育っていかないかなと思ひています。
委員長	ありがとうございます。家庭の問題等について、課題があるというご指摘でした。ほか、豊島区への思いなどいかがでしょうか。
委員	豊島区の思いというよりは、この会議体について、出てと言われて出ており、ちゃんと把握できてないところがあります。 あと、この後のスケジュールについて説明していただき、私だけが分かっていないのかもしれないのですが、お伺いしたいところがございます。 今日会議があり、次回は7月28日になるとのことです。昨日の夜、ざっくりの資料はこれですといただきました。次第などを斜め読みし、ああ、こういう感じなのだなと思ひました。正直今日何をするのかよく分からなかったです。次回、7月28日もこのまま何となく2時間ぐらい座って、ああ、こういうことなのだなとなりそうだと思ひています。 多分この後、年度を通して、2時間掛ける5の10時間、こういう場を開催するのかなと思ひますが、どこまでやれるかわからないです。空いている時間にさっきいったアンケートについて、意見があれば、言えればいいのか。もし、時間をうまく活用するのであれば、ただ座っているだけではなく、次回までの宿題というか、何を各自は求められているのか、子供たちのために何をすべきかというところが分かっていないので、意見交換できればなと思ひました。
委員長	まず、今のお話について事務局からご説明はありますか。

庶務課長	それでは、事務局のほうから、まず説明させていただきたいと思います。 本日の資料につきましては、皆様にお送りするのが遅れまして、誠に申し訳ございませんでした。 これからの流れですが、会場の場だけではなくて、皆さんといろいろとやり取りをさせていただきながら、会場で、その意見をまた皆さんですり合わせていただくということをしたいと考えております。 先ほど質問カードやご意見のメールのご案内を委員長からしていただきましたが、そういうものを通して、皆さんとキャッチボールをしながら、今回はこういうテーマで、こういうところを重点的にしていこうということを皆さんにも事前に資料を配付しまして、詰めていくというように進めていければと考えております。 今回につきましては、準備期間が区のほうで遅れましたことをおわびいたしまして、次回以降はなるべく早めに資料を提供いたしまして、皆さんのご意見が得やすいような形の会場の場にしていきたいと思っております。よろしく願いいたします。
委員長	ありがとうございます。 ほか、いかがでしょうか。
委員	すみません。先ほどの中央教育審議会という、この資料と、あと東京都のこども未来アクションという資料、これは国の定めた方針、都の定めた方針があります。今回、豊島区のビジョン、方針というのが、言ってみると、位置的には、国の方針があつて、さらに、自治体の東京都の方針がありますが、どういうふうに考えていけば、よろしいものでしょうか。 基本的には、東京都の方針に沿ってやっていくのであれば、ここに書いてあることを豊島区も進めていきますという話なのか、それとも、豊島区は独自に何か考えていきますということでしょうか。
委員長	国と都と区の位置づけですが、いかがでしょうか。
庶務課長	国と東京都のものを今回示しましたが、こちらは参考ということで、書かせていただいております。当然、国の方針に逆らったことを区がやるということではないですが、区の状況が国の全体の状況とは異なっていると思います。そういった中で、豊島区の現状が今どういうところにあつて、国はこう言っているけど、豊島区で取り組むのはまだ早いよねとか。国では、取組が弱いけれども、豊島区ではこれは重点的に取り組まなきゃいけないのかなというようなところが多々あると思います。 そういったところは、皆さんと一緒に事務局といたしまして、資料等を用意しながら、ご審議していただければなと思います。
委員長	豊島区の実態などを踏まえながら、ということです。 よろしいですか。
委員	はい。
委員長	ほか、いかがでしょうか。 はい、お願いします。
委員	スケジュールのところでお話がありました子供アンケートの件です。

	恐らく、学校を通じてやるのではないかと想定していますが、改めて、この子供アンケートの目的と活用の仕方についてご説明をいただけるとありがたいです。
庶務課長	子供アンケートについては、おっしゃるとおり、学校を通じて実施ということで考えております。 実際の中身については、これから検討しますが、設問方式ではなく、豊島区として、こういう学校を目指していますというイメージを子供たちに示して、それについて、子供たちがどういう感想を持つかという調査ができればよいと思っております。 その結果、子供たちの反応を見て、この委員会も含めてどういう対応を審議していけばいいのかを反映していきたいと思っております。 子供の意見の反映ということが今回のビジョンの一つの大きなテーマでもあると思っております。まだまだ固まってない部分もありますので、ご意見いただきながら、検討していきたいと思います。
委員	ありがとうございました。 どう活用するのかというのを一番知りたかったのですが、もし、ビジョンに何かしらの影響を与えることまで想定しているのであれば、実施の時期がここでいいのかなと個人的には思いました。 恐らく教員や一般の区民の方には、パブコメをすることで意見が取れると思います。でもそのパブコメの手前の修正の段階の時間が恐らく必要になるのではないかと考えると、改めて実施の時期も含めて、ご検討いただくとよいのかなと感じました。 以上です。
庶務課長	ありがとうございます。検討していきたいと思います。
委員長	ありがとうございます。 ほかにいかがでしょうか。
委員	子供アンケート調査の実施時期を早めることは、私も賛成です。やはり、パブコメに出す前に、いろいろ検討を加えた上で出したほうが良いと思います。 子供だけではなく、できれば、親御さんがどう考えているかということも、私自身は知りたいと思います。先ほど、松浦さんからありましたが、親が結構大事な役割を果たしているので、親がどう考えるかということも反映できたらなと思っております。これは個人的な意見です。 以上です。
委員長	ご意見ということです。何かありますか。
庶務課長	ご意見ということで参考にさせていただきたいと思います。スケジュールにつきましての話になりますが、一応、素案で子供版化を作成するということを考えておりますので、素案の完成時期をどうするかというところにも絡んできますので、検討させていただければと思います。 また、親の意見ということにつきましても、今回教育として、特に親にアンケートをとるということとはございませんが、子ども家庭部でアンケートを行うという話も聞いておりますので、そういったところで連携して調査していければと思います。

委員長	ありがとうございます。 ほか、いかがでしょうか。
委員	子どものアンケートについて、小学校1年生から中学校3年生だと、幅広い気がしていて、小学校1年生への質問と中学校3年への質問は難易度が違いそうだと思いますが、内容は一律ですか。
庶務課長	そうですね。アンケートという表現が適切かわかりませんが、そういうイメージで自由意見を書いていただくということなので、アンケートの対象を小学1年生から中学3年生まで全員にするかということも含めまして、これから検討していきたいと思います。
委員長	対象や内容についてももう少し整理してということですね。
委員	例えば、これを小学校1年生に見せても分からないという感じがします。
委員長	適切に子供たちの声が反映できるような方法を検討いただくということだと思います。あと、いかがでしょうか。 よろしいですか。それでは教育長からお願いします。
金子教育長	すみません。委員ではありませんが事務局サイドとして。 ありがとうございます。まだまだ練られていないところがあります。特にアンケートと書いてあるので、たくさんの質問が並んだようなものをイメージされたかと思います。実は教育委員会の中ではすごく分厚いアンケートの実施を最初考えました。しかし、毎年のように、国や都がいろいろな調査を行っているのに、ただ聞くためだけのアンケートをやるべきだろうか。 一方で、我々がいい経験をしたのは、今日はお見せできなくて残念ですが、つい最近つくりました特別支援計画の関係のパブコメをやったときに、子供にもやりたいねということで、すごくスタッフが苦労して、子供でも分かるような内容に書き下した上で絵などを付けて行いました。すると子どもからすごくたくさん意見が来ました。特別支援の子もいましたし、そうではない子もいました。お母さんたちからも来ました。とても内容もあるいい意見が多くて、結構それも反映させていただいて、最後を迎えたという、ちょっといい経験もしました。二兎追うわけではないですが、全体のプランについてもちゃんと説明が子供にも分かるように、小学生向けとか、中学生向けとか、今お話あったように、その年代に向けた説明の仕方がもしできれば、お声はいただけるのではないのかなと、ちょっと考えたりしています。 先日も、動画はどうかというすばらしい意見もいただいて、作るかどうかかわかりませんが、頑張ってみたいと思っております。計画の立案の中で、お母様のご意見も聞くべきということもありました。こういうことについては分かっていないのではないかというご指摘がありましたら、いろいろな形でそれについてはやっていきたいと思っております。前回いろいろやったようですが、全面的な、一から百まであるような質問形式のアンケートは、今回はやらないでいこうと思います。その代わり、素案ができた段階で、こういうふうに僕たちが考えて、学校に示していきたいと思っておりますが、みなさんどうですか、ということをつかりやすくできないかなと思っておりますので、またご意見いただきながら、考えてまいりたいと思います。ありがとうございます。

委員長	ありがとうございます。 あと、いかがでしょうか。 よろしいですかね。今日たくさんの資料が配付されましたので、この後見ていただいて、質問等は全体を見ながら、事務局のほうに出していただければ、回答いただけるかと思います。 それでは、豊島区の教育への思いなどについても今ご意見いただきましたので、今日は、ここまでにさせていただければと思います。 それでは、事務局からの連絡事項があれば、お願いいたします。
庶務課長	それでは、事務局から、先ほども申し上げましたけれども、本日資料をお配りしましたので、意見などございましたら、事務局から別途メールでお知らせいたしますので、そちらにご記入していただいて、ご返信していただければと思います。 今回の会議の内容につきましては、大体、6月7日ぐらいを目安にお返しいただければ、その次のステップに進めていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。 皆さんからもたくさんご意見いただいて、よりよいものをつくってきたいと思っております。 そのほか、事務連絡になりますけれども、まず1点目、本日、自転車等で来られている方につきましては、事務局で処理をさせていただきますので、お声がけいただければと思います。 次回の日程ですが、こういった会の形で開会するのは、7月28日の金曜日、18時から本日と同じこの部屋になります。 開会通知につきましては、改めて事務局よりご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。 あと、こちらの冊子、ビジョン等をお配りさせていただいておりますが、お持ち帰りしていただいても結構ですし、重いとか、そういったことで、今日は置いていきたいという方はその場に置いていただければ、次回事務局のほうでまた準備したいと思いますので、よろしくお願いいたします。 事務局からは以上となります。
委員長	ありがとうございます。 それでは、以上をもちまして、第1回教育ビジョン検討委員会を閉会いたしたいと思います。どうも今日はありがとうございました。 —閉会—